白米

千枚田あぜ道便り

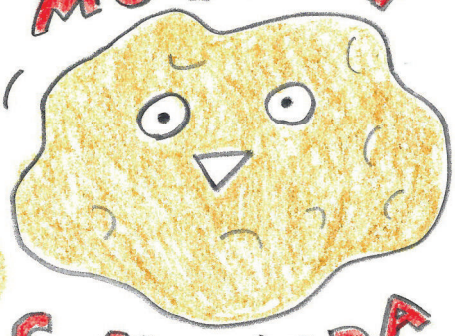
Vol.16
2026.3
発行
愛耕会

千枚田、修復中。

2024年の震災から、千枚田では日々修復作業が進められています。機械が入らず手作業で直すところが多いのも千枚田の特徴。地滑り地帯に作られた千枚田は、昔から崩れては直し、崩れては直しを くり返してきました。今回の地震と豪雨でも昔ながらの千枚田らしい修復方法を実践。



MOVING



SENMAIDA



崩れたら崩れたなりの形でつくる千枚田

自然と共存する能登人の知恵、ここにあり

豪雨のあと、みんなで手で直して仔から造成!!

棚田のまんなかあたり豪雨で大きく崩れてしまいました。その前は、こんな形

2024.9 能登豪雨

棚田20枚程が山崩れてなくなる



2024.8 豪雨前



2026.1 修復後



田んぼの大きさや形がかわる元通りにはせず崩れた地形を生かす

震災から3年目

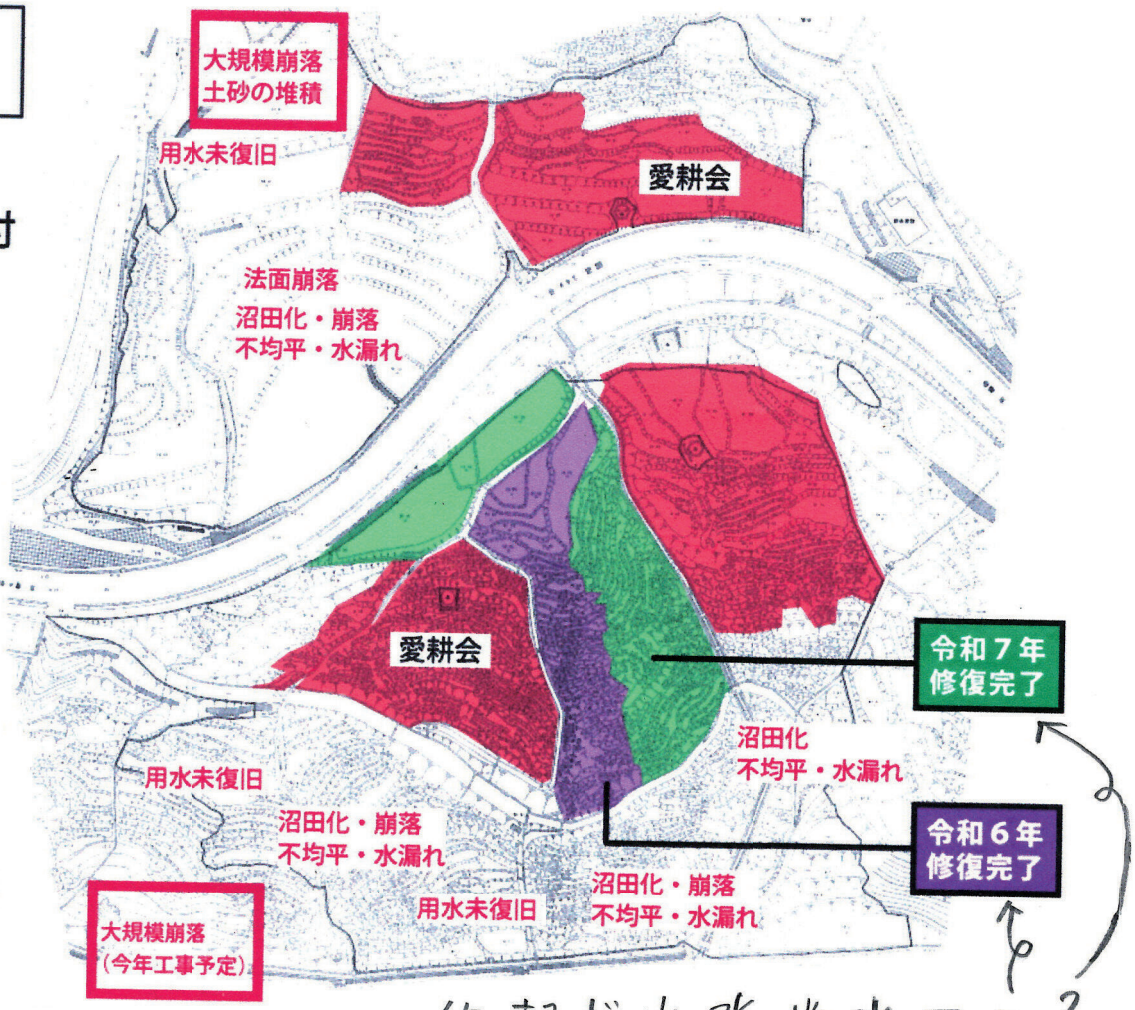
約500枚（1004枚中）修復完了!!

2026.3 現在

修復完了＝耕作可能エリア

地震後

■ 令和7年 愛耕会作付



まだまだこれからのところも多いですが少しずつ行政や地元業者と共に直していきたいです



2年かけて、耕作の合間をぬいながら修復。不均平や目に見えない水もれを防ぐために米づくりをしなくても水を張り、土の網動や小型耕運機で耕しドロドロにして目詰まりを起こして水もれを防ぐ作業を1枚ずつ地道に行ってきました。

・不均平
・水もれ
・畦なおし
・沼田化



日々の活動発信中

X（旧twitter）
@noto_senmaida

インスタグラム
@Senmaida_dikoukai

編集後期

（まきこ）

令和7年で20周年を迎えた愛耕会は任意団体から一般社団法人となりました。非営利組織での届出となります。今後はより一層担い手獲得、育成に向けて取り組んでいけたらと思っています。ホームページや新拠点も準備中です。故郷の宝、能登の宝の白米千枚田の歴史と文化、景観とコミュニティを100年先も守り継ぐための今は瀬戸際にきています。

発行：一般社団法人 白米千枚田愛耕会　協力：輪島市観光課